

事務事業名	生活道路整備事業	整理番号	33105-020
所 管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 17年度 ~ 平成 21年度	根拠法令・要綱等	御殿場市生活道路の臨時的整備に関する要綱
基本計画における位置付け	基本政策	3-3 歩行者と環境に配慮した交通体系の整備	関連政策
	政 策	3-3-1 道路網の整備	

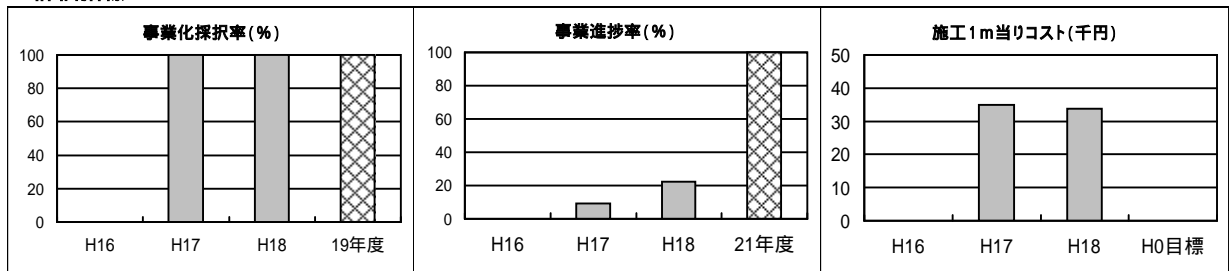
**事務事業の内容**

目的 (何のために)	市民生活の利便性を確保するため、現に住宅が立ち並んでいる地域において、幅員 4 m 以上確保が困難な砂利道の市道を舗装整備する。
対 象 (誰・何を)	沿線住民など
手 段 (どのようなやり方で)	雨水排水の処理を考慮しながら、現状で舗装整備する。
成 果 (どのような状態にしたいか)	歩行者等が通行しやすくなり、また、ほこりがたたなくなり住環境が向上する。
事務事業の背景・住民の意向	幅員 4 m 以下の道路は舗装整備されずにいるため、沿線住民から舗装の要望が多い。
見直し改善の経過	市街化区域内を舗装整備を進めていたが、平成 17 年度に要綱の見直しをし、調整区域をも含んで地元からの要望を改めて募り、その要望に対し以後 5 年間で重点的に舗装整備を行い、舗装率をアップさせる。

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度		<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) □人件費(下段)</p> <p>16年度 17年度 18年度</p>
平成17年度	施工箇所 13 路線、延長 L = 1,777.2 m、外 測量調査 要望路線数 = 142 路線	
平成18年度	施工箇所 23 路線、延長 L = 2,334 m、外 測量調査 要望路線数 = 162 路線	

**評価指標**



**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	平成 17 年度に要綱の改定を行い、市街化調整区域も整備できることで、事業の見直しをしたが、境界確定作業において一部改善の余地があるので再度改訂を行い、以降5年間で集中的に整備を進める。住民の環境も良くなり、道路の舗装率のアップにつながる。	今後の方向性
	有効性		
効率性	B		拡大
一次評価			
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	
二次評価	B	計画目標が達成できるよう努められたい。	今後の方向性
			継続

**改革プラン**

平成19年度からの対応	実施手法において、一部改善の余地があるため要綱を再度一部改定し、事業が円滑かつ機能的に促進できるようにする必要がある。(結果的にコストダウンにつながる)
平成20年度以降の対応	計画的に整備を進める。
改革により予想される成果	早期発注とコストダウンにより事業の拡大が望め進捗率が上がる。